

9 看護局業務

1) 看護局ミッション

地域住民の健康な生活を支え、地域に根ざし信頼される看護を提供します。

2) 看護局ビジョン

(1) 信頼される医療の提供

患者さん、地域の方にとって信頼される安心な医療を提供するとともに、患者さん中心の看護を探求します。

(2) 円滑な組織運営

組織は人なりという考え方に立ち、組織人として期待される責務を果たすという信頼関係を基盤に、チーム医療や業務改善を推進して、円滑な組織運営の共創に努めます。

(3) 自律した看護師の育成

相互に人を大切にし、共に育つようキャリア形成を支援し、主体的に学び行動する自律した看護師の育成を目指します。

(4) ワークライフバランスの促進

仕事と生活を両立して働き続けられる環境を築き、良質な人材を確保して、質の高い安定した看護の提供につなげます。

3) 令和2年度 看護局目標

(1) 安全で安心な看護の提供

(2) 円滑な病床管理

(3) 教育体制の充実

(4) 魅力ある職場環境づくり

4) 令和2年度 看護局目標評価

(1) 安全で安心な看護の提供

昨年度に引き続き、ヘンダーソン看護論に沿った標準看護計画の整備、および看護手順の見直しを行い、患者を生活者としてとらえたアセスメント・看護実践に取り組んだ。また、認知症患者の日常生活自立度評価と認知症ケアラウンド、摂食嚥下機能のスクリーニングと正しいポジショニングによる食事介助の実施等、高齢患者の重症化、機能低下を予防するケアの充実を図った。

新型コロナウイルス感染症神奈川モデル重点医療機関（以下、重点医療機関）として、業務マニュアルを作成し、感染予防策を再確認し、患者の受け入れ体制を整えた。

(2) 円滑な病床管理

重点医療機関としての使命を果たすため、COVID-19 感染症に機能を特化した病棟の設置と安全な病床運営のための人員配置を検討し、病棟編成を行った。7月より通常医療を再開したが、前年に比し、入院患者の減少・病床利用率が低下した。重点医療機関としての機能と断らない救急をモットーとした通常医療を両立するための病床調整および、重症度、医療・看護必要度のデータを活用した適切な病床管理を今後も継続する。

在宅療養環境、患者家族、介護支援者の現状を把握し、多職種カンファレンスの充実・定着化を図り、入退院支援と地域連携を強化した。また、退院後訪問・後方支援看護師の訪問を継続した。今後も断らない救急をモットーに近隣の医療機関や福祉施設など地域との連携を図っていく。

(3) 教育体制の充実

COVID-19 感染症患者の看護実践の中で、足柄式教育体制による「共育」「共創」の推進・定着をすすめた。感染対策に必要な知識・技術を身に着けるために積極的にシミュレーションの実施や学習の機会を作り、病棟編成の変更に伴う異動や環境の変化などに対する思いの表出や共有する場を持った。

病棟編成の変更と新卒新採用者の配属時期が重なったため、新卒新採用者 18 名全員が COVID-19 感染症患者以外を担当する 4A 病棟に配属した。教育プログラムを変更し、実技試験などを含めて看護技術等を確実に習得できるよう新人教育をすすめ、通常医療を再開した 7 月に各セクションに

再配属とした。また、ステップ研修は年度後半に時期を変更して実施した。病棟再編や病棟で受け入れる主たる診療科の変更に伴い、積極的に分散教育に取り組んだ。

看護学実習の受け入れは9月から開始し、養成校と調整して感染対策等を強化し、学生が実習に臨めるよう努めた。

特定行為研修指定研修機関としての準備を進め、令和3年2月に指定を受け、令和3年4月より看護師の特定行為研修を開始予定である。

(4) 魅力ある職場環境づくり

コロナ禍において心身の体調を崩しやすい状況がみられている。ストレスチェックの結果も参考にしながら、一人ひとりが健康に関心を寄せ、留意しながら業務に取り組めるようにしていく。

常勤夜勤専従についてはセクション内に偏りがないように希望を調整し、健康に留意しながら実施しており、自分自身のワークライフバランスを踏まえた働き方を選択することができている。また、年休は全員が年間5日以上を取得することができた。今後も計画的に取得できるように努めていく。

(5) 看護外来業務

ストーマ外来では皮膚・排泄ケア認定看護師が人工肛門や人工膀胱を持つ患者・家族に対して、日常生活に関わる相談、またトラブルが起きないように予測して対応している。患者が“自分らしさ”を大切にしながら日常生活を送れるためのサポートをしている。

	ストーマ外来（人）
平成30年度	214
令和元年度	179
令和2年度	134

(6) 令和2年度研修・実習実績

院内研修実績

<キャリアラダー ステップ研修>

段階	要素	研 修 名	目的	方 法	人数
ステップⅠ	実践	看護過程Ⅰ	看護過程に必要な情報をアセスメントできる力を養う	講義、GW	18
	管理	メンバーシップ研修	メンバーシップについて理解する	講義、GW	16
ステップⅡ	実践	看護過程Ⅱ	根拠に基づいた看護過程の展開ができる力を養う	事例展開	13
	教育	後輩育成Ⅰ	後輩に関わる姿勢を養う	講義、GW	14
	管理	リーダーシップ研修	リーダーシップについて理解する	シャドウイング	15
ステップⅢ	実践	看護過程Ⅲ	患者の個別性に合わせた看護過程の展開ができる力を養う	事例展開	8
	教育	後輩育成Ⅱ	後輩のレディネスに合わせて関わる姿勢を養う	講義、GW	4

<役割研修>

研修名	目的・目標	方法	人数
足柄式教育研修	看護師教育における役割を担うために足柄式教育体制を理解する	講義、GW	36

<新採用者研修>

研修名	目的・目標	方法	人数
新採用看護職員 採用時研修	新しい職場への早期適応を図る 専門職業人としての基礎的な知識・技術・態度を学ぶ	講義・演習・GW	18
急変時の対応	急変の前兆に気づき、必要な初期対応がわかる	講義・演習	16
リフレッシュ研修	仲間とともに3ヶ月間の体験を振り返り、気持ちをリフレッシュする	グループ ディスカッション	18

<オープンセミナー> 令和2年度 開催なし

学会・院外研修参加実績

<学会発表>

学 会 名	演 題 ○発表者
日本家族看護学会 第27回学術集会 9月12日、13日 WEB開催9月1日～9月22日	後期高齢患者の健康状態・家族背景と退院先決定との関係 ○竹下みのり 東海大学医学部看護学科 臨床応用看護系 小椋正道 井上玲子
第22回 日本救急看護学会学術集会 WEB開催12月1日～12月31日	COVID-19患者エアロゾル回避のための頭位被覆BOX作成 ○生田正美 脳神経外科 濱田幸一
第22回 神奈川看護学会 12月5日	転倒・転落アセスメントスコアシートの改善を試みて ○向出哉美 中村由紀 大原敦子 整形外科 瀧上秀成 リハビリテーション室 新井昌行 来栖慶一
令和2年度神奈川県看護協会 小田原支部看護研究発表会 オンデマンド配信	新型コロナウイルス感染症病棟での終末期がん患者の看取り ～感染管理が優先される状況での緩和ケア実践を振り返る～ ○曾我輝之

<学会参加>

学 会 名（分 野）	開催地	開 催 日	人数
日本認知症学会 学術集会	名古屋	11月26日～28日 WEB開催	1
日本がん看護学会 学術集会	神戸	令和3年2月27日、28日 WEB開催	1

＜長期研修派遣＞

受 講 分 野	日 程	人数
保健師助産師看護師実習指導者講習会 国際医療福祉大学小田原キャンパス	9月～12月	1
保健師助産師看護師実習指導者講習会 東海大学伊勢原キャンパス	9月～12月	1
認定看護管理者教育課程ファーストレベル 神奈川工科大学看護生涯学習センター	10月～1月（オンライン授業、集合研修）	2
医療安全管理者養成研修 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	10月～11月（オンライン授業、集合研修）	1
医療安全管理者養成研修 神奈川県看護協会	e-ラーニング（12月～1月）、2月（集合研修）	1

＜神奈川県看護協会＞

会場：神奈川県総合医療会館

研 修 名	日 程	人数
看護補助者の活用促進のための看護管理者研修	10月23日	1
看護補助者の活用促進のための看護管理者研修	令和3年1月19日	1
高齢者支援と認知症患者の看護	令和3年1月22日、26日	1
わかりやすい栄養管理～活用しよう！栄養代謝アセスメント～	11月9日	1
事例から学ぼう褥瘡ケアの実際	11月6日	2
口から食べることを支援するために～摂食嚥下障害のある患者の看護～	11月4日、5日	1
教育担当者研修～教育プログラムの立案・運営・評価～	令和3年2月12日、15日	2

＜神奈川県立病院機構 職員研修＞

コース名	日 程	会 場	人数
医療メディエーション	11月11日、12日	神奈川県立病院機構本部	5

＜神奈川県立病院機構 看護職員交流研修＞

場 所	研 修 内 容	日 程	人数
神奈川県立こども医療センター	看護師実務研修	7月～9月	1
神奈川県立こども医療センター	看護師実務研修	7月～令和3年3月	2
神奈川県立がんセンター	看護師実務研修	9月～令和3年2月	1
神奈川県立がんセンター	看護師実務研修	9月～令和3年3月	1

＜公開授業＞

研 修 場 所	研 修 内 容	日 程	人数
神奈川県立平塚看護大学校	看護援助論総合演習Ⅱ OSCE(客観的臨床能力試験)	12月14日	1
神奈川県立平塚看護大学校	令和3年度研修発表会	12月7日	1

＜その他研修等＞

主 催	研 修 名	日 程	人数
日本臨床看護マネジメント学会	重症度、医療・看護必要度院内指導者研修	インターネット配信	3
神奈川県歯科医師会	医療分野における未病改善のためのオーラルフレイル対応型指導者育成研修会	e-ラーニング 11月19日（演習）	1
神奈川県看護部長会	地域包括的視点に基づいた創造する医療・介護・福祉の連携と管理をめざして	11月14日	1

研修等受入実績

＜インターンシップ＞

	日程	人数
第1回	8月22日	16
第2回	9月5日	8
第3回	10月10日	4
第4回	11月7日	3
第5回	12月26日	3
第6回	2月27日	9
第7回	3月13日	2
第8回	3月22日	8

＜採用試験直前説明会＞

日程	人数
6月27日	1
7月4日	5
7月11日	3

＜個別説明会＞

日程	人数
7月13日	11
8月5日	2

＜その他＞

依頼学校	研 修 名	日 程	人数
東京福祉大学 心理学部 心理学科	養護教諭一種免許状取得のための看護臨床実習（外来）	11月9日（月）～27日（金） のうち10日間	1

かもめのたまご計画（就職前支援）開催実績

対象者	当院の就職内定者（自由参加）
日 程	10月10日、3月11日
目 的	入職前に新入職者同士の顔合わせができ職場環境を知ること、入職に対する不安が軽減する
参加者	第1回（10月10日）：4名 第2回（3月11日）：7名
内 容	第1回（10月10日） ・顔合わせ、自己紹介 ・学習支援eラーニング（看護技術、国家試験過去問題集）の紹介 ※12月～1月にかけて、看護師国家試験の模擬試験を通信教育で実施 第2回（3月11日） ・顔合わせ、自己紹介 ・看護場面の見学（看護師シャドーイング）

復職支援研修 開催実績 開催中止

対象者	復職や転職を検討中の方、技術に不安がある方、最新の医療の動向に興味のある方
目 的	潜在看護師や転職を考えている看護師が医療の現状を知り、看護技術の再学習を行うことで、復職を前向きに考えてもらう

2020年度看護学実習受入実績

病棟名(診療科目)		収容人数	4月																															5月																															6月																															7月																															8月																															9月																															10月																															11月																															12月																															1月																															2月																															3月																															実入人数	退入人数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

10 助産関連業務

助産師は院内助産の実施に伴い、満足度の高いお産ができることを目的とした妊婦健診と保健指導（助産師外来）を行った。また、授乳指導や母乳育児の支援として、母乳育児外来や相談業務を行い、出産前から出産後まで継続した支援を行った。COVID-19 感染症患者の受け入れに伴う病棟編成の変更により院内助産は停止した。

区分 年度	院内助産	助産師外来	ペアクラス	母乳育児外来	おっぱい大好き 倶楽部	骨盤体操クラス
平成 30 年度	53 人	565 人	66 人	134 人	16 組	67 人
令和元年度	29 人	333 人	59 人	122 人	39 組	25 人
令和 2 年度	0 人	5 人	0 人	16 人	0 組	1 人

※令和 2 年度の助産師外来は、紹介状を渡すための受診で診察は行っていない。

1 1 各種活動報告

(1) 感染対策会議（感染管理室）活動報告

院内感染とは医療機関において患者が現疾患と別に新たに得た感染症や職員が医療機関において感染した感染症のことである。当院では、院内感染防止のため①スタンダードプリコーション及び感染経路別予防策の実践②感染情報を共有③感染症発生状況の報告、分析、評価、この3点の考え方を基本とした感染対策を行い、患者・全職員・地域を含めた安全な環境確保を図る視点から感染防止に取り組んでいる。

感染管理室は感染管理室長（副院長・感染制御医師）、感染管理室室長補佐（内科医師・感染制御医師）1名、室員（感染管理認定看護師）1名で構成し活動している。

1. 新型コロナウイルス感染症に対応した感染防止対策の実施

今年度は新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の流行のため、日常の感染防止策はCOVID-19対策をふまえたものが必要となった。標準予防策とユニバーサルマスキングの徹底である。また、神奈川モデルの重点医療機関としてCOVID-19患者の受入れを行うための設備面の整備、運用のための手順やマニュアル整備に関わった。

設備面では、発熱患者専用診察スペースの設置や感染防御の設備を整えた病室の整備に関して、運用面では、面会禁止・面談等病棟立ち入り者の健康観察と記録による入院患者への感染リスク低減策、入院患者の入院前健康観察実施、手術患者の術前PCR検査実施、職員（家族）の健康観察実施と日常生活指導を含む感染防止策の実施などである。感染対策に必要な防護具や手指消毒剤等の物品供給が滞る時期があったが、事務局はじめ他部門と連携を取り、寄付物品の使用や代替品の手配などで窮地を乗り切った。

2. 感染防止対策に関する診療報酬について

感染防止対策加算1、感染防止対策地域連携加算を継続算定し、陽風会高台病院、財団報徳会西湘病院、綾和会間中病院と連携し、合同カンファレンスを4回/年実施した。地域連携加算相互評価では、湘南藤沢徳洲会病院を当院が評価し、当院は茅ヶ崎市立病院による評価を受けた。平成30年度より抗菌薬適正使用支援加算の新設により、抗菌薬適正使用支援チーム（Antimicrobial Stewardship team, AST）の活動を行っている。

3. 神奈川県立病院機構感染制御推進会議（5回実施/年）

感染制御責任者（副院長・感染管理室長）、感染制御医師（感染管理室長補佐）、副事務局長が出席し、法人内の感染制御に係る検討・調整が行われた。

4. 神奈川県立病院機構感染制御ワーキンググループ（4回実施/年）

神奈川県立病院機構感染制御推進会議の下部組織として、感染管理室員（感染管理認定看護師）が出席、情報共有・意見交換を行った。

5. 感染対策会議（定例 12 回実施／年）

院内感染防止、感染症発生時の措置及び感染対策を推進する組織に関して必要な事項を定める会議である。感染制御チーム（Infection control team, ICT）ミーティングの報告や感染リンクナース会議の報告を受け当院の方針を決定した。COVID-19 対策本部会議と連携し、COVID-19 対応等について検討した。

6. ICT ミーティング（50 回実施／年）・AST ミーティング（50 回実施／年）

メンバー構成は、感染管理室長、室長補佐 1 名、臨床検査技師 1 名、薬剤師（感染制御認定薬剤師）1 名、事務職員 1 名、室員 1 名の計 6 名である。毎週木曜日にミーティングを開催し、血液培養結果検討、耐性菌検出者検討、抗菌薬の適正使用及びケースラウンド、院内ラウンドを実施した。感染防止対策マニュアルの改訂、耐性菌対策、COVID-19 対策、その他の感染対策を検討し、感染対策会議に提案した。

7. その他

	項目		今年度	前年度	備考
①	耐性菌サーベイランス	MRSA（感染患者割合）	1.89	1.20	（延べ入院患者に対する感染患者数×1,000）
②		ESBL（感染患者割合）	1.67	1.32	
③	血液培養件数		1,474 件	2,121 件	
④	血液培養 2 セット提出率		98.1%	98.4%	
⑤	特定抗菌薬届出提出率		97.1%	94.1%	
⑥	バンコマイシン治療薬物モニタリング（TDM）	人数	23 名	25 名	
		解析回数	89 回		
⑦	職員インフルエンザワクチン接種率		89%	90%	令和 2 年度 425 名接種
⑧	院内研修受講者数（延べ人数）		1,627 名	1,866 名	
⑨	院内研修実施回数		27 回	25 回	
⑩	感染対策便り発行		11 回	11 回	基本は月 1 回の発行

- ・サーベイランスは、①②に加え、厚生労働省院内感染防止対策サーベイランス（JANIS）検査部門・全入院患者部門及び手術部位感染（SSI）部門に継続参加した。
- ・本年度は COVID-19 対応のため入院患者数が減少、血液培養件数は減少したが、2 セット提出率は前年度と同様、高値となっている。採血困難事例以外は 2 セットでの提出がされている。
- ・院内研修は、COVID-19 対策として密を避ける必要があったため、e ラーニングを活用した研修を実施した。COVID-19 に関する研修は同じ内容で複数回の開催とした。

院内研修の主なテーマ（一部抜粋）

新入職者等研修	新型コロナウイルス感染症	結核の診断・治療・検査
CV ポートについて	流行性ウイルス感染症と予防注射	外来における抗菌薬使用
インフルエンザ感染予防	針刺し・切創、血液曝露予防	標準予防策と感染経路別予防策

(2) 医療安全推進活動報告

- 令和2年度のヒヤリ・ハット事例および医療事故報告全体における、レベル0及びレベル1の報告割合は91.4%で、第3期中期計画数値目標の84.5%を6.9%上回った。今後もレベル0報告の割合を増やすことに力を入れ、事故予防策を講じる。
- 患者誤認件数は前年度の27件より4件減少し23件であった。内服に関する誤認件数は10件から4件に減少し、注射に関する患者誤認件数は0件であった。一方、指示・情報伝達に関することや書類の渡し間違いが増加している傾向にあるため、引き続き患者確認行動の推進に努め防止する。
- 転倒・転落の発生率は3.19%で、前年度に比べ0.66%減少し、レベル2以上の発生率は0.63%で0.45%減少した。安全リンクナースを中心としたワーキンググループの活動により、修正された転倒・転落アセスメントと看護計画を実施したことが成果につながったと考える。
- 医療安全研修は、感染対策を実施したうえで、医療従事者として受講すべき研修、指針・ガイドランで求められている研修、COVID-19に関する研修等を実施し、全職員の86.0%（前年度84.5%）が当院で定めたポイント数の取得に至った。
- 医療安全対策地域医療連携加算に関連した施設間の相互評価については、緊急事態宣言等により訪問による他者評価が実施できなかった。施設間で自己評価をもとに情報交換を行い、他施設の5S活動について自施設の対策に活かした。
- 医療安全ポケットマニュアル第4版を作成し、COVID-19の対応と緊急コール、窒息対応フローについて追加した。

① 会議の開催

医療安全管理会議 毎月1回 第4水曜日 / リスクマネジメント会議 毎月1回 第3金曜日に開催
 月毎のヒヤリハット・アクシデント報告、医療安全巡回と報告（11月）、事例検討（6月、7月、1月）、医療安全推進ニュースの検討、医療安全マニュアルの見直し、医療安全対策地域連携相互評価の報告、医療安全推進会議及び医療安全ワーキングの報告、医療安全週間開催と実施報告

② 研修活動

	研修区分	対象	内 容	開催回数	参加 延べ人数
1	医療安全研修	全職員	COVID-19患者急変時対策シミュレーション	1	83
		全職員	モニタ心電図の基礎知識 第1章～心電図の基礎	1	56
		全職員	モニタ心電図の基礎知識 第2章～不整脈の判読	1	56
		全職員	安全なエコーガイド下中心静脈穿刺	1	15
		全職員	新型コロナウイルス感染症勉強会	4	21
		医師・看護師	経鼻栄養チューブの挿入と管理	2	63
		全職員	医薬品の安全使用について	3	53
		看護補助者	看護補助者・病棟技能員研修	4	38
		全職員	2槽バッグ（ダブルバック）製剤 隔壁未開通投与防止対策	2	14
		医師・看護師	安全なエコーガイド下中心静脈穿刺	4	11
		全職員	深部静脈血栓症	1	33
		全職員	転倒・転落防止対策	4	38
2	医療安全研修 セクション共同開催	全職員 一部対象限定 看護職員 研修医	緊急カテへの移動時の対応 造影CT時急変時対応シミュレーション COVID-19 PCR検査について 医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）・スキンテアについて 認知症ケア研修 酸塩基平衡のデータの見方 血液ガス読解法BASIC 心不全勉強会 ドレーン勉強会 心電図頻脈について 胸腔ドレーン勉強会 ネーザルハイフロー勉強会 接遇研修等 計21研修	21	903
3	医療安全・感染防止研修	感染症対策委員会活動報告参照			
4	リスクマネジメント会議	会議構成員	リスクマネジメント会議の事例検討	3	57
5	DVD研修	全職員	医療安全DVD視聴	1	371

③ 医療安全週間（期間：令和2年11月22日～11月28日）

感染防止対策のため参加型のイベントを自粛し、院内各部門の取り組み（テーマ：転倒・転落防止対策）と、近隣児童生徒による絵画ポスターを約1か月間院内に提示した。
 絵画ポスターでは10作品の応募があり、手洗い励行、マスク装着、職員に向けた感謝や労いの内容等、COVID-19に関するものが多かった。

④ 令和2年度ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告

神奈川県立病院機構においては、ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントの内容に応じて、そのレベルを以下のように設定しており、当院もそれに準じてデータをまとめた。

ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントの分類レベル指標

区分	レベル		内 容
ヒヤリ・ハット	レベル0		間違ったことが発生したが、患者には実施されなかった場合
	レベル1		間違ったことを実施したが、患者には変化が生じなかった場合
	レベル2		実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった影響を与えた可能性があり、観察の強化や検査の必要性が生じた場合
	レベル3	a	実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった軽微な処置・治療の必要が生じた場合
b		実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった若しくは予期していたものを上回る何らかの変化が生じ、濃厚な処置・治療の必要性が生じた場合	
アクシデント	レベル4		実施された医療又は管理により、患者の生活に影響する予期しなかった若しくは予期していたものを上回る高度の後遺症が残る可能性が生じた場合
	レベル5		実施された医療又は管理により、予期せず患者が死亡した場合

ア 全体報告数（表1）

レベル0及び1が1,323件で前年度より230件減少し、レベル2以上が124件で前年度より358件減少した。特にレベル2においては334件の減少、レベル3aは21件の減少、レベル3b以上のアクシデントは0件であり、レベル2以上の発生率が15.1%も減少した。

表1 インシデント・アクシデント年度別報告数

区分	レベル	30年度		令和元年度		令和2年度	
ヒヤリ・ハット事例	0	285	1,774	273	1,553	258	1,323
	1	1,489		1,280		1,065	
	2	348	366	452	482	118	124
	3a	17		27		6	
アクシデント	3b	1		3		0	
	4	0		0		0	
	5	0		0		0	
合 計		2,140		2,035		1,447	
レベル0.1発生率 ※1		82.9%		76.3%		91.4%	
レベル2以上発生率 ※2		17.1%		23.7%		8.6%	

※1 レベル0, 1以上報告数／全体数 ※2 レベル2以上報告数／全体数

イ 事象別報告（表2）

事象報告の件数は令和元年度に比べいずれも減少している。ドレーン・チューブ類使用・管理、内服薬の事象に関して、構成比率が多い傾向は変わらないが、レベル2以上の構成比率はドレーン・チューブ類使用・管理で－10%、内服薬で－8%と減少していた。また転倒・転落に関しては前年度の約半数に減少した。

その他の療養上の場面においては、レベル2の軟膏処置等を必要とした褥瘡関連の事象構成比率が69.2%と多く、高齢者が多い当院においては今後も課題である。

表2 事象別報告件数

事象	①令和2年度		②令和元年度		①－② 件数
	件数	構成比率	件数	構成比率	
指示・情報伝達	51	3.5%	40	2.0%	11
薬剤(処方・与薬・調剤・製剤管理)	255	17.6%	350	17.2%	-95
注射・点滴	67	4.8%	120	5.9%	-53
内服薬	173	12%	213	10.5%	-40
その他	15	1.0%	17	0.8%	-2
輸血	8	0.6%	10	0.5%	-2
治療・処置・診察	39	2.7%	52	2.6%	-13
手術	23	1.6%	36	1.8%	-13
麻酔	2	0.1%	4	0.2%	-2
その他治療	2	0.1%	2	0.1%	0
処置	9	0.8%	9	0.4%	0
診察	3	0.2%	1	0.0%	2
医療用具(機器)使用管理	13	0.9%	41	2.0%	-28
ドレーン・チューブ類使用・管理	314	21.7%	507	24.9%	-193
検 査	240	16.6%	235	11.5%	5
療養上の場面	467	32.3%	756	37.1%	-289
転倒・転落	140	9.7%	289	14.2%	-149
給食・栄養	126	8.7%	176	8.6%	-50
その他	201	13.9%	291	14.3%	-90
その他	60	4.1%	44	2.2%	16
合 計	1,447	100	2,035	100%	-588

ウ 時間帯別事象報告

時間帯別では、10～11 時台、12～13 時台の午前中から昼にかけてと、16～17 時台の夕方が多く、勤務交代や検査・処置、食事時間の移乗や与薬などケアが重なる時間帯である。検査・処置と患者の活動が少ない 20 時～5 時までの事象件数は少ない。

エ 報告者別事象報告件数（表3）

全体の事象報告件数が減少しているため前年度と件数の比較は難しいが、構成比では医師報告割合が 1.2%から 1.9%に上昇し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の報告割合が上昇した。放射線技師、事務職（クラークを含む）では、前年度 0 件であったが今年度は働きかけにより事象報告が上がるようになり、全職種に対し報告文化が広がってきたと考える。

表3 報告者別 事象報告件数

事象	①令和2年度		②令和元年度		①－② 件数
	件数	構成比	件数	構成比	
医師	27	1.9%	25	1.2%	2
看護師	1,139	78.6%	1,621	79.7%	-482
薬剤師	48	3.3%	60	2.9%	-12
臨床検査技師	82	5.7%	173	8.5%	-91
放射線技師	9	0.6%	0	-	9
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	13	0.9%	2	0.1%	11
管理栄養士	121	8.4%	154	7.6%	-33
事務職	8	0.6%	0	-	8
その他	0	0.0%	0	0.0%	0
合 計	1,447	100.0%	2,035	100.0%	-588

(3) クリニカルパス検討会議

令和2年度は33件のパス運用基準の検討・修正を実施した。
パスの使用実績は、948件であった。

令和2年度 クリニカルパス使用実績

診療科 名称	パス名称	件数
外科	胃がん	17
	自然気胸	3
	成人鼠径ヘルニア根治術（前日） 最新版	53
	大腸癌	49
	虫垂炎手術 当日緊急	19
	乳癌手術（前日入院）	13
	腹腔鏡下胆嚢摘出術（前日入院） 最新版	34
眼科	白内障手術（PEA+IOL）	30
循環器科	ペースメーカー新規植え込み	5
	ペースメーカー電池交換	6
	経皮的冠動脈形成術（PCI）	12
	心臓カテーテル検査	63
整形外科	鎖骨骨折	11
	人工股関節置換術	17
	人工股関節置換術（大転子切離法）	7
	人工膝関節置換術	29
	足関節骨折	14
	大腿骨近位部骨折 観血の整復固定術	63
	大腿骨頸部骨折 人工骨頭術	43
	橈骨遠位端骨折	24
	下肢抜釘術（左右なし）	13
	上肢骨折一般（左右なし、XPなし）	40
	上肢抜釘術（左右なし）	27
	脊髄腔造影 腰椎（整形外科）	17
	脊髄腔造影 頸椎（整形外科）	4
	頸椎手術（整形外科）	4
	腰椎手術（整形外科）	28
総合診療 科	がん化学療法共通	3
	ラジオ波焼灼術・経皮エタノール注入療法・肝生検	2
	待機の食道静脈瘤結紮術（EVL）	3

診療科 名称	パス名称	件数
総合診療 科	大腸内視鏡・粘膜切除術（1泊2日）	29
	大腸内視鏡・粘膜切除術（2泊3日）	12
	胆嚢摘出術	1
	虫垂炎手術 当日緊急	1
	内視鏡下胃瘻造設・交換術	2
	内視鏡的胃粘膜切除・粘膜下層剥離術	20
	内視鏡的逆行性胆管膵管造影	1
	内視鏡的大腸粘膜剥離術	3
	腹部血管造影・肝動脈塞栓術	2
脳神経外 科	腰椎手術（脳神経外科）	13
	手根管症候群手術	17
	脊髄腔造影（脳神経外科）1泊2日	13
	脳血管撮影	8
	慢性硬膜下血腫当日用	16
泌尿器科	頸椎手術（脳神経外科）	3
	局所麻酔下尿管ステント挿入・交換術	16
	経尿道的前立腺切除術	14
	経尿道の膀胱手術	19
	結石破碎術	5
	腰椎麻酔下尿管ステント挿入・交換術	4
	腎摘出術	2
	前立腺生検（膀胱鏡含む） 脊椎麻酔	6
	前立腺生検（膀胱鏡含む） 全身麻酔	3
	前立腺全摘出術	1
	前立腺針生検術	38
	前立腺針生検術+膀胱鏡	1
	排尿指導	5
	排尿指導 日帰り	15
皮膚科	帯状疱疹	25
集計		948

（４）災害医療対策室

救急医療の現状については、第３章患者の概況「救急患者取扱状況」を参照。

○院内防災訓練

新型コロナウイルス感染症のため、大人数による訓練は中止とし、各セクションでの消防訓練を実施した。（令和２年４月１日～令和３年３月３１日 計１５回 参加者延 １７４名）

※その他

新型コロナウイルス感染症の影響により DMAT 訓練等については全て中止となった。

（５）褥瘡対策会議

褥瘡対策チーム活動

当院は、コロナ感染症患者の受け入れに伴い、病棟編成や病床コントロール、入院患者数（手術等含む）の制限など様々な対応を行ってきた。褥瘡対策においても、感染管理室と連携し、褥瘡対策会議・褥瘡リンクナース会議内で検討を行いながら、褥瘡回診方法の変更や、褥瘡（スキンケア含む）有病者の治療や処置方法の変更、体圧分散寝具等の整備等を状況に合わせて行った。看護においては、訪室回数が制限される中でもできる限りの褥瘡予防治療対策（背抜きケアや保湿等のスキンケア、創傷被覆材を使った予防対策など）を行った。

入院患者数や褥瘡危険因子保有者数は減少したが、例年と同様に入院数に対する褥瘡危険因子保有者の割合は増加傾向であり、褥瘡対策が必要な患者数が増加している。褥瘡ハイリスク患者ケア算定数は、令和元年よりも算定数は減少したが、算定割合は約１０％増加した。

今後も、コロナ感染症病床（コロナ感染症疑い患者受け入れ病床含む）と一般病床に応じた褥瘡対策が必要である。職員対象とした褥瘡管理対策に係る体制として、毎年行っている褥瘡対策研修においては、研修方法を動画視聴研修へ変更予定である。

褥瘡関連データ

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
褥瘡危険因子保有者数	2,501 名	2,432 名	1,640 名
褥瘡有病者数 （令和元年度～自重褥瘡＋MDRPU）	255 名	282 名	249 名
院内発生（自重褥瘡）	81 名	81 名	49 名
院外発生	177 名	123 名	130 名
入院数に対する褥瘡危険因子保有者の割合	44.6%	46.8%	48.8%
入院数に対する褥瘡有病者の割合	4.6%	4.1%	7.4%
院内発生者（自重褥瘡）の割合	1.4%	1.55%	1.5%
褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定数	1,003 名	885 名	715 名

（６）ボランティア活動報告

計５団体（ランパス※病院ボランティア会、松田絵手紙の会、受付介助ボランティア、写真掲示ボランティア、絵本と夢のおはなしボランティア）の活動団体があるが、令和２年度においては新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、院内における活動を全て休止とした。

(7) 臨床病理検討会 (CPC)

第65回 CPC 令和3年3月18日 15時00分より 研修室1

循環器科 関井 隆介先生 研修医 黒沼 尚仁先生 病理診断科 亀田 陽一先生
「長期にわたった膿胸の1例」

出席者 21名

(8) 「医学講座」・「出前講座」

医学講座・出前講座企画運営会議

令和2年度「医学講座」は、新型コロナウイルス感染症のため中止とした。

令和2年度 地域住民対象「医学講座」「出前講座」開催実績

出前 第1回	11月16日(月) 9:15~10:35	「子どもの病気や事故への対応に ついて」	地域医療連携室 助産師 佐藤良枝	開成町民センター	開成町ファミリーサポート会員 「まかせて会員・両方会員研修会」
-----------	-------------------------	-------------------------	------------------------	----------	------------------------------------